

第3回山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会次第

日 時 令和8年2月17日（火） 18：00

場 所 山都中学校 2階 図書室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

ア 経過報告

イ 第2回統合準備委員会の振り返り

ウ 市議会12月議会一般質問における質疑

(2) 協議事項

ア 今後の進め方について

イ 統合準備委員会の公開について

(3) その他

4 そ の 他

5 閉 会

山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会委員名簿

No.	所 属 等	氏 名	備 考
1	山都町行政区長会会長	たしろ まもる 田代 衛	副委員長
2	山都町行政区長会幹事	いがらし さとる 五十嵐 知	校名等検討部会 副部会長
3	高郷町行政区長会会長	なかじま かつひろ 中島 克弘	校名等検討部会 部会長
4	高郷町行政区長会副会長	いしだ ひさとし 石田 久敏	
5	山都中学校PTA会長	たしろ さとし 田代 哲	
6	山都中学校PTA副会長	さいとう だいすけ 齋藤 大亮	
7	高郷中学校PTA会長	たかく きょうへい 高久 恭平	
8	高郷中学校PTA副会長	みやざわ いっぺい 宮澤 一平	
9	山都小学校PTA会長	しもとり ともや 霜鳥 智也	
10	山都小学校PTA副会長	なかぞの みちあき 中園 道暁	
11	高郷小学校PTA会長	えんどう けん じ 遠藤 健治	
12	高郷小学校PTA	にへい たつや 二瓶 竜也	
13	山都地区学校運営協議会副会長	たかはし しゅう 高橋 周	
14	高郷地区学校運営協議会会長	すとう じんいち 須藤 仁一	
15	山都中学校長	つるまき あつやす 鶴巻 厚保	学校運営部会、生徒生活部会、 教育活動支援部会 部会長 制服等検討部会 副部会長
16	高郷中学校長	いとう たけのり 伊藤 武徳	制服等検討部会 部会長 学校運営部会、生徒生活部会、 教育活動支援部会 副部会長
17	山都小学校長	さとう ゆうじ 佐藤 祐司	
18	高郷小学校長	しおにゅう たかひさ 塩 生 敬久	
19	学識経験者	こばやし かずひろ 小林 一裕	委員長

事務局

所属等	氏 名	備 考
学校教育課 課長	あんどう ひろあき 安藤 裕明	
学校教育課 主幹兼管理主事	おおつき たかし 大槻 隆志	
学校教育課 課長補佐	おおがき よしとも 大垣 義智	
学校教育課 学校経営アドバイザー	たかはし ひろえつ 高橋 弘悦	

3 議事

ア 経過報告について

<山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会>

回	日 時	場 所	主な内容
第1回	令和7年11月4日 (火) 18:00	山都公民館 多目的ホール	・委嘱状交付 ・山都中学校及び高郷中学校統合準備委員会設置要綱について ・委員長及び副委員長の選出 (1) 山都中学校及び高郷中学校の統合について (2) 統合準備委員会の取組について (3) 部会の設置について (4) 今後のスケジュールについて (5) 山都・高郷地区「育みの丘」構想(案)について (6) その他
第2回	令和7年11月18日 (火) 18:00	高郷総合支所 大会議室	・議事 (1) 確認事項について (2) 部会について (3) 山都・高郷地区「育みの丘」構想(案)について (4) 統合中の校舎について (5) 今後のスケジュールについて (6) その他

< 第2回統合準備委員会以降の経過 >

日 時	主な内容
令和7年11月28日	山都中学校・高郷中学校の統合に関して署名提出158名 (統合中学校として旧耶麻農校舎ではなく山都中学校の活用を強く求める。)
12月1～4日	12月議会一般質問(4名) (1) 齋藤仁一議員(山都・高郷中学校の統合と育みの丘構想(案)について) (2) 田中修身議員(山都中学校・高郷中学校統合整備構想(山都・高郷地区育みの丘構想)について) (3) 矢吹哲也議員(大型建設事業構想・計画について、旧耶麻農業高校跡地の「育みの丘」構想について) (4) 渡部勇一議員(旧県立耶麻農業高校跡地利活用について)
12月16日	陳情書提出72名 (山都・高郷統合中の旧耶麻校舎を拠点として活用することの陳情)
令和8年1月8日	喜多方市議会全員協議会(5名) (山都・高郷地区「育みの丘」構想(案)の進捗について) 山口和男議員、田中修身議員、渡部勇一議員、齋藤仁一議員、矢吹哲也議員

イ 第2回統合準備委員会の振り返り

※第2回統合準備委員会（4P資料の追加修正）

<校舎比較>

項 目	山都中	耶麻高
建 築 年	S 6 1	S 4 9
経 過 年 数	3 9 年	5 1 年
法定耐用年数 A	4 7 年	4 7 年
Aを超過する年度	R 1 5	超過
建設時の耐震基準	新耐震基準	旧耐震基準
耐 震 対 策	昭和 56 年以降の建設のため、 耐震対策の必要なし。 耐震工事行っていない。	H21 南校舎大規模改修 H24 北校舎大規模改修

<旧耐震基準>

昭和 56 年 5 月 31 日まで適用されていた基準で、震度 5 程度の地震で建物が即座に崩壊しないことを目的としていました。昭和 53 年の宮城県沖地震での大きな被害を教訓に、より厳しい耐震性が求められるようになりました。

<新耐震基準>

昭和 56 年 6 月 1 日より、中規模地震（震度 5 強程度）ではほとんど損傷せず、大規模地震（震度 6 強～7 程度）でも倒壊・崩壊しないことを定めています。これは、建物内の人命を守ることを最優先とした基準です。

＜第2回統合準備委員会での意見や要望、確認事項＞

No.	質問・要望	回 答
1	育みの丘構想が本当にできるのか、企業が本当に来るのか。地元企業はどのくらい興味を示しているのか。実際に企業が来たら、どこ の教室を使うのか。	第3回資料で一部対応。
2	耶麻高にはプールがないがどうするのか。 との質問に、山都中プールを使用したいと回 答したが、再度確認したい。	令和6・7年度に学校プール共同利用の試 行を実施。 ＜令和6年度＞ (1) 姥堂小が駒形小を利用 (2) 高郷中が高郷小を利用 (3) 第三中が市民プールを利用 ＜令和7年度＞ (1) 姥堂小が駒形小を利用 (2) 堂島小が豊川小を利用 (3) 上三宮小が熱塩加納小を利用 (4) 第三中が市民プールを利用 ＜令和8年度実施計画＞ (1) 姥堂小が駒形小を利用 (2) 堂島小が豊川小を利用 (3) 上三宮小が熱塩加納小を利用 (4) 第三小が松山小を利用 (5) 第三中が市民プールを利用 (6) 山都中が山都小を利用
3	熊対策フェンスは、どの程度のフェンスなの か。	高さ1.5m、延長559mで検討。
4	不特定多数の人間が出入りする中で、子供た ちに対するセキュリティ面の不安。	教室の配置等に関連するため、後日回答。
5	耶麻高のアクセスに関して、狭くて坂道だ。 カーブもあって車が出入りするのは少し不 便な立地環境。	庁内会議において、情報共有している。
6	育みの丘構想が蓋を開けたら期待していた のに全然違うとなった場合はどうなるのか。	開校と同じくして、スタートできるよう準 備をしていく。
7	耶麻高でないとできない、山都中ではできな い。そういった判断資料をそろえてほしい。	第3回会議資料で対応。
8	成功事例や失敗事例があれば	第3回会議資料で対応。

ウ 市議会 1 2 月議会一般質問における質疑

別紙資料「令和 7 年 1 2 月議会一般質問（喜多方市議会HPより）」

(2) 協議事項

ア 今後の進め方について

イ 統合準備委員会の公開について

(3) その他